



この号の内容

- ① 過疎地の医療再生に挑め
～限界集落、過疎地の医療再生を阻んだもの～
- ② 産業医学と産業医活動について
- ③ MUSCAT プロジェクトの取組み
- ④ ハーバード大学教育病院での臨床経験

岡山県医師会

URL <http://www.okayama.med.or.jp/index.html>E-mail oma@po.okayama.med.or.jp

過疎地の医療再生に挑め

～限界集落、過疎地の医療再生を阻んだもの～

岡山県医師会 会長 井戸俊夫

【限界集落の現状】

日本の中山間地集落や離島などを中心に、過疎化、高齢化が進み、追い討ちをかけるように限界集落が急増しています。我が国の限界集落は、2006年の調査では全国でおよそ7,878箇所とされていましたが、2010年4月に行われた総務省の過疎地に関する調査によると、限界集落は10,091箇所と急増しています。限界集落の維持はもはや限界に達し、改善に向けた有効な手立てを見出すことはもはや不可能に近い状況です。

限界集落について、はっきりとした定義はありませんが、高齢化や人口減で、冠婚葬祭、森林管理など住民同士の助け合いが困難になってきている集落で、65歳以上の高齢者人口が全住民の半数以上を占めるものと理解されているようです。

その限界集落、中国地方が全国で最も多く2,672箇所、住民全員が65歳以上の集落は575箇所、その半数が75歳以上のみの過疎集落です。

こうした過疎地の高齢者達は、健康的理由によって限界集落の中で住み続けることが困難と判断されるようになると、施設に入るか、或いは息子、娘のところへ引き取られるしかありません。その一方で、どんな集落を残すのか、どんな集落が撤退すべきなのか、医療資源の無駄をなくすためにも、その検討が今求められているのではないのでしょうか。

例えば今回の東北地方のように、災害に繰り返し遭遇するような危険地帯にあるのなら、半強制的であっても撤退が認められるべきでしょう。医療や福祉施設と一体化した新たな地域生活圏が出来れば、行政サービスも向上し財源にも余裕が出ます。その分医療の充実にも使われるようになります。

【過疎地の地域再生を阻んだもの】

さて、岡山県医師会では、地域医療再生臨時特例交付金（22年度補正予算において総額2,100億円を積み増しされたもの）を被災地域の医療復興に全額交付するよう原中会長に要望書を提出し国への働きかけをお願いしました。これだけの予算を被災した東北の医療再生に集中させれば、必ず地域医療は早期に復興します。新しい街づくりの目玉にもなります。

しかし、4月15日厚労省医政局は「災害により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県及び福島県においては、平成23年11月16日（水）を目途に提出期限を延長することを可能とし、あわせて交付額についてもそれぞれ平成22年度地域医療再生臨時特別交付金交付要綱に定める上限まで（1県当たり120億）確保することとしたので通知する」として決着させました。

民主党は地域医療再生計画についての理解に乏しく省庁任せです。菅内閣の大災害対応や原発事故対策は、決断と実行が必要な重大な局面で完全な機能不全に陥っています。この内閣にはやる気と活気に欠けています。災い転じて福と為す発想がありません。

【今後の医療を担うのは誰か】

第6次岡山県保健医療計画によると、岡山県内の無医地区、又はそれに準ずる地区は16市町村34地区です。本県の医師数は全国平均を大きく上回っているものの、地域格差、診療科格差は改善されないままです。岡山県では、これまでの自治医科大学のへき地医師派遣に加え、医学部地域枠、寄附講座、奨学金制度、医師住宅整備、へき地での患者送迎、ドクターヘリの活用促進などを積極的に進めてきました。

地域医療支援センターについても、既に全国15箇所で先行的の事業が行われていますが、岡山県でも、今後さらに責任を持って地域支援センターで医師確保を図り、これらを総合的に活用して、地域の医療充実に努めます。今後この事業は岡山県の委託を受けて、県医師会が取組みを進める予定です。へき地をただ医師不足として捉えるのではなく、新たな夢に向かって果敢に挑戦する医師がもう少しはいてもいいのではないのでしょうか。地域を改革する意欲ある医師の参入を期待します。そうした志のある医師を県医師会は支えていきます。

ミニレクチャー

産業医学と産業医活動について

岡山県医師会 副会長 石川 紘

(1) はじめに

産業医育成を主眼とし、卒業と同時に認定産業医のライセンスを取得できる産業医科大学（北九州市）を除いて、他の大学医学部専門教育カリキュラムには「産業医学講座」が組み込まれたことが未だかつて無いと記憶する。従って、研修医諸氏におかれては「産業医学」の概念すら認識されていない方々が多いのではないかと推測している。産業医学とはいかなる部門か？本邦に於いては6,000万人を超える職域における労働者（職業人）が存在しているが、この方々を対象とし、労働作業関連疾病の診断・治療はもとより労働の環境や作業条件と働く人の健康影響に関する諸因子を追及してこれらを予防すると共に、産業技術による労働条件を人間に適応させ、各人が職業生活に於いて、健康で且つ十分に能力を発揮できるようにすることを目的とした学問領域である。言い換えれば、医学の産業社会に対する社会的適用と云うことができる。

欧米では「産業医学」に相当する用語としてOccupational-Medicineを用いることが多く、WHO等では職業と健康に焦点を合わせたOccupational-Healthという用語を使用している。卑近な例を挙げると医学部教育カリキュラムにある基礎医学部門に属する疫学・衛生学、公衆衛生学における予防医学全般、又、臨床医学の内、内科部門における糖尿病、心筋梗塞を代表とする成人病、肥満、高脂血症等の生活習慣病又、整形外科部門における腰痛症・頸肩腕症候群ほか運動器疾病、精神科部門におけるうつ病、統合失調症等々基礎臨床を含む各領域における学術によってこれらの早期発見・予防対策・治療指針等全てが「産業医学」の範疇に入ってくる。

そして地域の職業人に対して上述の任務を第一線で担っている医師等がわれわれ医療人の中で国が定めた産業医のライセンスを持つ「認定産業医」である。

(2) 日本医師会認定産業医制度について

産業医の資格・任務等については労働安全衛生法という法律によって規定され、同時に我々の身分の保障にも係わっている。この法令に従って平成2年に標記制度は発足し、以降、表1 のフローチャートに従って研修をクリアした医師が認定産業医のライセンスを獲得し、その後、5年毎の更新認定をクリアして産業医活動に従事している。

表2 が示す如く、現在、全国で8万名以上の産業医が認定されており、本県でも1,300名以上の認定産業医が誕生し、5年毎の更新手続きを経て産業医活動に従事している。尤もこれらの数は制度発足以来の延べ人数であるから、実働産業医はこの数よりも少ないことは確かである。

(3) 産業保健活動の場は？

先の労働安全衛生法の規定により、従業員50名以上の企業は産業医の選任義務が課せられている。これらの企業は産業医と委託契約を結んだ上で雇用関係におかれる。従って規模に応じた報酬を受けることが保障されている。表3 に示すように本県では産業医選任義務企業（事業場）が2,000を超え、その内、約90%の事業場が我々産業医を選任委嘱している。1,000人以上の従業員を抱える大企業にあっては専属産業医を選任する義務を負っており、ここでは産業医はその企業に就職の形をとることになる。従って水島コンビナートに於けるような大企業には先に述べた産業医大出身者等が数名専属として就職している。

一方、医療機関にあっても従業員50名以上の病院は同様に産業医の選任が義務付けられているわけで、近年病院関係者の受講者が増加している。この他、労働衛生コンサルタント制度と云って、国家試験であるコンサルタント試験に合格すれば、終生産業医活動が可能な資格もある。小生もその一人で厚労省関連の産業保健推進事業に有利に加担できる特典がある。

(4) 最後に産業医学全般に係わるカリキュラムの1例を紹介しよう。先ず・・・

〔産業医に必要な法的知識の解説〕

- ①労働安全衛生行政 ②労働衛生関連法規 ③労働基準法施行規則第35条（労働補償行政）

〔産業医に必要な専門的知識の解説〕

- ①産業医学総論 ②職場における有害物質対策（有機溶剤・有毒ガスを含む有害化学物質・粉じん・騒音・温熱等） ③快適職場推進対策 ④職場のストレスとメンタルヘルス対策 ⑤職場のエイズ対策等

〔産業医に必要な実践的職務の解説〕

- ①労働者に対する健康管理・健康教育の方法 ②作業環境管理の方法（職場巡視を含む） ③作業管理の方法

以上のような内容での研修を受講し、認定産業医のライセンスを先ず取得し、その後、5年毎の更新のための研修を受けライセンスを更新維持していく。これらのカリキュラムの中には受験勉強時における数学・物理・化学等も応用でき楽しい学問の分野でもある。

表1 日本医師会認定産業医制度フローチャート

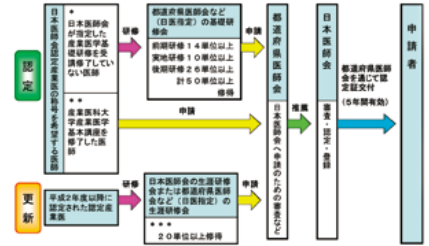


表2 日医認定産業医数並びに更新状況について

平成22年9月現在

	全国	岡山県 (累計)	更新申請者 (岡山県) (累計)
H2→H5	26,365	487 / 487	—
H 6	656	22 / 509	—
H 7	792	22 / 531	156
H 8	1,145	18 / 549	74 / 230
H 9	3,533	72 / 621	73 / 303
H10	8,911	128 / 749	60 / 363
∴			
H20	3,138	42 / 1,288	162 / 1,570
H21	2,724	45 / 1,333	122 / 1,692
H22	1,580	29 / 1,362	118 / 1,810
計	80,744	1,362	1,810

表3 県下事業場における各署別産業医選任状況

平成22年12月末現在 岡山労働局

	対象事業場数	選任事業場数	選任率 (%)
岡山署	923	881	95.4
倉敷署	625	516	82.6
津山署	218	197	90.4
笠岡署	150	146	97.3
和気署	83	73	88.0
新見署	68	66	97.1
合計	2,067	1,879	90.9

■ Key Word

産業医学、認定産業医、労働安全衛生法、労働衛生コンサルタント試験

岡山県医師会勤務医部会・女医部会合同総会

【特別講演】 平成 23 年 6 月 26 日（日）に行われました上記部会総会でご講演いただきました両先生の抄録です。
 自らが復職支援枠で復帰され、岡山大学病児保育室の設置に関わられた川畑智子先生と試験勉強に何度も挫折しながらついにアメリカへ臨床留学をされた、現在宇部で悪性胸膜中皮腫の外科治療で日本の第一人者として活躍中の岡部和倫先生の御講演でした。

MUSCAT プロジェクトの取組み

岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT 副センター長 川畑智子先生

平成 19 年度文部科学省医療人 GP の採択を受けた「女性を生かすキャリア支援計画」は約 3 年間で復職支援を柱として様々な活動を行いました。MUSCAT プロジェクトは平成 22 年度から女性医療人支援と男女共同参画の実現を目指した取り組みとして前活動を引き継ぐ形で新たなスタートを切りました。



平成 20 年頃、復職者として私自身がその渦中に居ました。もともと岡山大学でリウマチ内科を専攻したいと考えておりましたが、すべてが未確立な段階で二人の子供を妊娠・出産しました。双方の両親は県外に在住し、夫も多忙と他に頼る人もなく、一人で子育てを担うことに不安を抱え復職を悩んだ時期もありました。そのような時に腎・免疫・内分泌代謝内科学の榎野教授をはじめ医局の先生方や医療人キャリアセンター長の片岡先生、友人などから復職を多角的に支援していただきました。前取組時に設立された復職支援枠を利用し、短時間勤務から段階的に復職を果たしました。その後縁あってキャリアセンターのスタッフにして頂き、まずは復職支援の一環である岡山大学病児保育室の設立に携わりました。平成 21 年には岡山大学病院看護職員を対象にワークライフバランスのアンケート調査を行い、病児保育におけるニーズと潜在的需要を分析しました。他、施設見学をはじめ施設基準の作成や保育士と看護師のスタッフ教育等を行い、同年 10 月にますかつと病児保育ルームを開室しました。



開室後も継続的に運営に携わり、次世代育成の観点からも子育てに関する講演会を適宜開催しております。復職支援としては岡山大学病院の復職支援制度が平成 22 年には育児だけではなく介護も利用理由として可能となり、対象も女性だけではなく男性にも広がりました。そしてキャリアセンターを通じて岡山大学病院だけではなく、地域病院へ復職する例も徐々に増えています。自らの経験を踏まえると、復職には周囲の理解と支援が大変重要と考えております。キャリアセンターは個々の状況にあった支援を考案し、精神的支援やシミュレーショントレーニングなどスキルアップも含めた実務的支援、そして復職者と受け入れ側の相互理解のために調整を行っていきたいと考えています。より着実な復職支援と医師として真のキャリア形成を目指した横断的な活動を今後も展開する予定としています。

ハーバード大学教育病院での臨床経験

国立病院機構 山口宇部医療センター 外科系診療部長 岡部和倫先生

ハーバード大学に合計 6 年 3 カ月留学しました。4 年 3 カ月間の研究と 2 年間の臨床です。適切な対策を行えば、アメリカ医師免許試験 (USMLE: United States Medical Licensing Examination) に合格できます。私の留学経験と Educational Commission for Foreign Medical Graduates (ECFMG) Certificate を取得するための対策をご紹介します。岡山医学同窓会報第 96 号 (2004 年 4 月) や山口宇部医療センターのホームページ (www.yamaguchi-hosp.jp) に詳述していますので、ご参照下さい。



私が受験した 1999 年ごろは、USMLE Step 1 (基礎医学)、USMLE Step 2 (臨床医学)、TOEFL (Test of English as a Foreign Language)、CSA (Clinical Skills Assessment) に合格すれば、ECFMG Certificate を取得できました。USMLE Step 1 と Step 2 のためのお勧めのポイントは、「各科の基礎知識を日本語の参考書などで整理し、次に英語の試験対策本や問題集などを用いて勉強する。」ことです。各 Step に数冊のあまり厚くない英語の試験対策本や問題集 (講演時に現物を供覧) を繰り返し読み込んで記憶しま



す。CSA 対策は、KAPLAN (米国予備校) の 5-day Training Program が素晴らしかったです。ECFMG Certificate を取得できる可能性は高いです。

アメリカ医師免許を取得し、ハーバード大学の Brigham and Women's

Hospital の胸部外科で 2 年間クリニカルフェローを行いました。科長の Dr. Sugarbaker は、悪性胸膜中皮腫や肺癌の外科治療で世界的に有名です。全身麻酔手術が呼吸器と食道を合わせて 1 年間に 2,300 例ほど有り、5 人のクリニカルフェローで分担しました。多数の手術や術後管理の経験が、山口宇部医療センターでの診療に大いに役立っています。研究留学や臨床留学を強くお勧めします。



お知らせ

ドクターズ キャリアカフェ in OKAYAMA 女子医学生・研修医等をサポートするための会

- 日時：平成23年9月10日(土) 14:00～16:00
- 場所：岡山大学病院入院棟11階 カンファレンスルームC
- 講演：青山裕美先生（岡山大学皮膚科学教室 准教授）
「プロ意識の高い医師であり、
かつ魅力ある女性をめざそう！」

◎活動状況報告

岡山大学 MUSCAT Jr. 松谷 歩さん
山口大学 en-JoY 芳川里奈さん

◎グループディスカッション

「こんな時自分ならどうする？」

第2回 岡山MUSCATフォーラム

- テーマ：「求められる復帰支援を目指して」
 - 日時：平成23年11月26日(土) (午後)
 - 場所：岡山コンベンションセンター
1F イベントホール
 - 対象：一般（本テーマにご興味のある方すべて）
 - 主催：岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT
- 詳細は <http://www.okayama-muscat.jp/okayama/category/event>
(MUSCAT プロジェクト)

学会出席時に 託児施設をご利用下さい

岡山駅前の託児施設に学会出席中の託児を特別料金でお願いしています。利用には岡山県医師会保育支援事業への申し込みと託児施設への事前予約が必要です。詳しくは岡山県医師会へお問い合わせ下さい。

岡山県医師会主催の教育講座等への出席の際の会場での無料託児は従来どおり行っております。ご利用下さい。

詳細は

<http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/joseishi/youkou.html>

女性医師支援コーナー

岡山県医師会では女性医師が研究・臨床の場で仕事を続けることが可能であるように、一度離職した女性医師が臨床現場に復帰できるように支援を行っております。

- 女性医師バンク申し込み
- 各種相談申し込み
- 保育施設情報の検索システムの利用

詳細は

<http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/joseishi/index.html>

男女共同参画事業

- 学生（医学科5年生）対象アンケート（H23.3～4実施）報告書
学生が考える医師不足・医師の偏在についてのアンケート

詳細は

<http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/kenshuuitourouku/files/questionnaire.pdf>

- 男女共同参画事業企画講演会 講演録

詳細は

<http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/kenshuuitourouku/kyoudousankaku/index.html>

編集後記

本年春に岡山大学医学部医学科と川崎医科大学の5年生を対象に医師不足・偏在に関することを主なテーマとしたアンケートを行いました。学生の皆さんが地域医療の存続に関心を持ってくださっていることを心強く思いましたので、井戸会長に過疎地の医療再生についてのお話を寄稿いただきました。また、産業医は労働現場では大きな役割を果たしているにもかかわらず、研修医の間には接することのない分野です。仕組みを理解しておくことは必要なことだと思います。

私どもは皆さんに先輩の先生方のいろいろな経験を聞いて

いただく機会を作っていきたいと考えています。6月26日に行われました岡山県医師会勤務医部会・女医部会合同総会の特別公演では岡山大学医療人キャリアセンター副センター長の川畑智子先生と国立病院機構山口宇部医療センター外科系診療部長の岡部和倫先生にお話しいただきました。その抄録を掲載しています。講演録は県医師会のホームページで順次閲覧できるようにします。研修医コーナーよりアクセスしてください。

学会出席時の託児サービスは岡山駅付近での学会参加に便利のように、岡山駅前の託児施設と契約しています。小学生一人でのお留守番はちょっとと思われる際にも利用してみてください。お父さん、お母さんが勉強する場所を覗いた後なら数時間待つことを誇りに思ってくれることでしょう。（神崎）